

令和 8年 3月発行

ひとり親の支えになる広報誌

NO.73

雪つばき

ご挨拶



厳しい寒さの中にも、日差しに少しずつ春の気配が感じられる季節となりました。

会員の皆さまにおかれましては、日頃よりそれぞれの立場で子育てや生活支援に取り組まれているご努力に、心から感銘を受けております。

昨年7月27日、新発田市生涯学習センターにおいて、6年ぶりとなる「第65回新潟県ひとり親家庭福祉大会」を開催いたしました。130名を超える皆さまにご参加いただき、シンポジウムや講演を通じて、お子様や家庭を支える地域のつながりの大切さを改めて確認する機会となりました。

しかし近年は、物価の上昇や就労環境の不安定化など、ひとり親家庭を取り巻く環境はますます厳しさを増しております。その結果、経済的な困難に直面する家庭が増え、子どもの学習や生活環境にも影響が及んでいます。また、母子家庭のみならず父子家庭も含め、ひとり親家庭の形態は多様化しており、それぞれの家庭が抱える悩みや困難も異なります。このような状況を踏まえ、当会は、こうした声に寄り添い、相談や支援の機会を提供することを重要な役割と考え、今後も活動を進めてまいります。また、このたび団体名称を「新潟県ひとり親家庭福祉連合会」と改め、すべてのひとり親家庭への支援体制の充実を図るとともに、多様な家庭のニーズに応じた活動を展開してまいります。

同じ立場だからこそ分かり合える安心できる居場所の提供と、会員の皆さまの声を社会に届ける取り組みを両輪として、少しでも安心して暮らせる社会の実現を目指してまいります。

(一社) 新潟県ひとり親家庭福祉連合会
会長 茂又 悦子

編集発行 一般社団法人 新潟県ひとり親家庭福祉連合会 事務局

〒950-0994 新潟市中央区上所2丁目2番2号

新潟ユニゾンプラザ3階

TEL : 025-281-5546 FAX : 025-281-5547

E-mail : info@niigatakenboren.jp

URL : <https://niigatakenboren.jp>

旭日双光章受賞

この度、中野様の母子福祉分野における多年のご功績に対し
令和7年9月1日付で「旭日双光章」を授与されました。
長きにわたり联合会にご尽力いただき感謝申し上げます。



中野キシ子 様

平成6年4月～令和3年6月
柏崎市母子寡婦福祉会やまゆり会 会長

平成7年4月～平成9年4月
社団法人新潟県母子寡婦福祉連合会 理事

平成9年4月～平成15年3月
社団法人新潟県母子寡婦福祉連合会 副会長

平成15年4月～平成25年3月
社団法人新潟県母子寡婦福祉連合会 会長

平成25年4月～令和元年6月
一般社団法人新潟県母子寡婦福祉連合会 会長

令和元年6月～令和3年6月
一般社団法人新潟県母子寡婦福祉連合会 副会長



伝達式（於：新潟県庁）



お祝い会にて
元事務局長 渡辺様と

母子寡婦福祉会の思い出

中野キシ子

昭和37年ころ、希望の就職がかない、上京、結婚と人並みの路線を過ごしていました。しかし、そんな中、突然体調不良を訴えた夫が入院治療の途中で亡くなりました。私は空を仰ぎ、病院の咲きそろった花壇の花を見つめていました。当時3人の子供は、それぞれ、8歳、6歳、2歳でした。自分一人で幼い3人の子を養う、生活を維持することは到底無理、身近に手助けが必要と判断し、一家4人で郷里の柏崎の両親の家に転がり込みました。両親の応援の下で、看護師の資格を生かせる仕事に就くことが出来ました。そして、柏崎のひとり親家庭の支援をする団体の「柏崎市の母子クラブ」の紹介を受け、入会しました。

入会后、まず聞いたのは「母子会の活動資金がないので、市役所の売店を母子会の運営にさせていただくように頼みました」と当時の会長の言葉でした。その当時は、その言葉の重要性を理解していませんでしたが、その後私が母子会の会長になった際には、この売店が母子会の活動資金を支える存在になっており大変助かったのです。母子会に入会后は、あれこれの活動に参加し、そのうちにまとめた役になり、平成8年から令和2年まで24年間、ひとり親の役員の皆さんと共に活動してきました。

まず「母子クラブ」名称から「母子寡婦福祉会」に名称を変更し、母子会の紹介のパンフレットを作成して、そのPRに努めることから始めました。役員15名のメンバーで月に一度、仕事の終わった6時ころから開催し、母子会の売店からパンとコーヒーを購入し、空腹を満たしていました。子連れで参加、西山から車で30分かけて来てくれる役員も協力して、手分けして、行事の案内状を印刷し、郵送作業をしました。

母子会の行事は夏休みのバス旅行、クリスマス会、入学お祝い会といった親睦の活動だけではなく、パソコン講習会や料理教室など生活に役立つような行事も行っていました。特に印象深い、平成15年の夏休みの、東京デイズニーランドへの日帰りツアーです。参加者は80名、夕方柏崎を出発車中(バス)泊し、朝の到着と同時に並んで入場し、各自、見学、最終バレードを見て出発し車中泊、朝柏崎に無事到着といった弾丸ツアーでした。狭いバスの座席で眠ることの難しさを実感しました。

赤い羽根募金からの支援金を毎年いただき事業費に活用しました。また、フードバンクの支援も年に何回か受け、生活の援助となりました。母子会会長としての24年間で、共に苦勞した役員の皆様とは今も友人としたつながりでいつでも相談でき、逆に生活の応援をしてもらっています。

以上は柏崎市での母子会の活動のお話でした。

新潟県母子寡婦福祉連合会の会長を平成15年から16年間勤めました。

皆さんご存じのことばかりですが平成16年会長を務めたばかりの時、関東地区母子福祉研究集会の当番実施となり、最後の開催準備の打ち合わせをすませ、帰宅後、新潟県中越地震が発生しました。なんとか開催したいと言いつ張りましたが、現状は無理でした。再度計画を手直しして、年明け平成17年2月26日27日ホテルオークラ新潟で無事開催しました。県外の参加者の皆さんに感謝の声をかけていただきました。年一度の全国母子寡婦福祉会の会長の集まりがありました。自由民主党母子寡婦福祉対策議員連盟総会で国会議事堂のある永田町で開催していました。平成30年5月25日参加対策議員連盟会長に全母子協議会理事長が要望書を渡し活動の交換の場でした。教育訓練給付金制度、ひとり親家庭奨学金制度など要望に応えてもらった制度でしょうか。この制度で

「看護師の資格が取れました」という嬉しい知らせをいただきました県の年間の事業の一つに、各市に設けられている母子福祉会の交流を目的として、輪番制で福祉大会を毎年開催してきました。福祉大会では、来賓を招き各福祉会の現状と要望を伝えることだけではなく、記念講演、シンポジウムなど行ってきました。シンポジウムの発表は、会員だけではなく、ひとり親で育てている子どもさんの発表もあり、その頑張る姿勢に参加者一同で感動したこともありました。大会開催にあたっては、会場との打ち合わせ、講師の手配、資料作りと事務局の大変な労力にいまさらながら感謝でいっぱいです。皆さんの要望に対応出来たことも多くありましたが、反省することもたくさんありました。長い間、会長としての役割を果たすことが出来たのは、事務局や役員として支えてくださった皆さんの絶大なる協力があってからです。心より感謝申し上げます。

第65回 新潟県ひとり親家庭福祉大会を（新発田市）で開催



一般社団法人 新潟県母子寡婦福祉連合会

第65回 新潟県 ひとり親家庭福祉大会

令和7年度全国統一活動テーマ
「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」

シンポジウムテーマ
「目指そう自立、活かそう支援策」
「未来へつなぐ、世代の輪」
「すべての子どもに 安心と希望を！」

日時
7.27日
13:00~16:10

会場
新発田市生涯学習センター
(新発田市中央町丁目8-47)※駐車場無料

参加費
大人・母子会会員 無料
非会員 ¥500
子ども 無料

協賛 新潟県フードバンク 連絡協議会
フードパントリー開催

プログラム

12:00	受付
13:00	開会式
13:50	シンポジウム
15:00	講演 講演：新潟お笑い集団NAMARA 森下 英矢さん ※講演中、別室にてお子様向けバルーンパフォーマンスを開催 パフォーマー：アーガシイさん
16:00	閉会式 16:10 閉会

コーディネーター
新潟青陵大学福祉心理子ども学部 教授 佐藤 朗子さん

講演
新潟お笑い集団NAMARA 森下 英矢さん

子供向け
バルーンパフォーマンス アーガシイさん

主催 一般社団法人 新潟県母子寡婦福祉連合会

共催 新発田市 社会福祉課

お申込み お問合せ
申込みフォームまたは お電話にてお申込み下さい
申込締切：6月30日(16:00まで)

申込みフォーム
025-281-5546

令和7年7月27日(日)新発田市生涯学習センター講堂にて「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」をテーマに第65回新潟県ひとり親家庭福祉大会を開催いたしました。130名を超える多数の皆様からご参加いただき有難うございました。

開会式では、茂又会長の挨拶に続きご来賓の皆様からご祝辞を賜り、前年度決議事項処理報告を行いました。

シンポジウムでは「すべての子どもに安心と希望を!」「未来へつなぐ、世代の輪」「目指そう自立、活かそう支援策」という3つのテーマで新潟青陵大学福祉心理子ども学部教授 佐藤朗子様をコーディネーターに、3名の方から発表いただきました。

講演では新潟お笑い集団NAMARA森下英矢様から「発達障がい児やたちんと森下家の人々～地域と家庭ではぐくむ無限の可能性～」という演題でお話していただきました。ご自身の体験をもとに、時に笑いを交えながら、楽しく、そして温かい語り口で、発達障がい児とその家族、地域の関わりについてお話をいただきました。森下様のユーモアと真摯な姿勢が印象的で、会場には笑顔と共感の空気が広がりました。

大会と並行して、お子様35名が参加するバルーンアート体験を開催いたしました。バルーンショップ・アーガシイ様のご協力のもと、子どもたちは自らバルーンを作ったり、初めての挑戦に夢中になったりと、笑顔あふれる時間を過ごしていました。

大会終了後には特定非営利活動法人新潟県フードバンク推進協議会様、特定非営利活動法人フードバンクにいがた様 協賛のもと、大会参加者の皆様を対象にフードパントリーを実施いたしました。



新潟県委託事業

「ひとり親家庭くらし・子育て応援セミナー」開催

～ひとり親の皆さんがお互いの悩みを打ち明け、情報交換や仲間づくりのできる場です！～

令和7年6月1日（日） 親子クッキング&おしゃべりカフェin五泉市



令和7年7月13日（日） 子育てコーチングセミナー&おしゃべりカフェin見附市



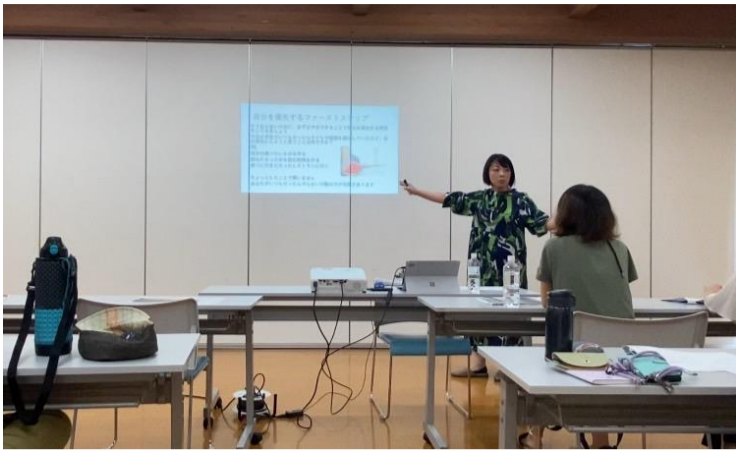
令和7年8月23日（土） 親子でBBQ&おしゃべりカフェin十日町市



令和7年8月24日（日） ブルーベリー狩り・BBQ体験日帰りバスツアー



令和7年9月7日（日）メンタルセミナー&親子でサンドアート制作
&おしゃべりカフェin長岡市川口地区



令和7年11月2日（日）親子クッキング&メンタルセミナー&おしゃべりカフェin新潟市



令和7年11月16日（日）親子制作&おしゃべりカフェin長岡市



令和7年12月14日（日）クリスマスハーバリウム制作&おしゃべりカフェin柏崎市



食品・物品 寄付一覧

今年もたくさんの食品や物品をご寄付いただきました。
皆さまの温かいご支援に感謝しています。



新潟県明乳会さま



新潟県社会福祉協議会さま



大洋工業株式会社さま



巻湯東
わくわくちびっこ園さま



父母の離婚後のこどもの養育についての法律が見直され、
親の責務や親権、養育費、親子交流 などの
様々なルールが新しくなります (2026年4月1日に施行)



- ◎新たな選択肢、共同親権でどんなことが変わるの?
- ◎養育費のルール、どんなことが変わるの?
- ◎安全・安心な親子交流って?

こども家庭庁では、改正法による新しいルールやひとり親家庭への支援施策を紹介する「ひとり親家庭のためのポータルサイト」を開設しております。パンフレットおよび「ひとり親家庭のためのポータルサイト」で詳しく紹介しています。下記QRコードからぜひご確認ください。

パンフレット



ひとり親家庭のためのポータルサイト



女性用 スーツレンタル 就職活動やお子さまの入学・卒業セレモニー用として



サイズは

7号

9号

11号

13号

15号

17号

から選べます。

ウォッシュブルスーツなので、
返却の際は洗濯のみOK!

○紺色

○ストライプ柄

※レンタルは全サイズ

ジャケット+スカートのセットです。

一部サイズでパンツのご用意もあります。

◆ブラウス(M・L・XLサイズ)

◆バック※A4サイズ(黒・紺色)



お問い合わせ: 025-281-5587
(受付時間 / 平日 9:30 ~ 16:30)